

## 令和6年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
家庭	ファッション造形基礎	2	3	文系の選択①/②

使用教科書	副教材等
ファッション造形基礎	特になし（あれば「服飾手芸」の教科書）

<b>科目の目標</b> 家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ファッションの造形を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。
---

<b>評価の観点とその趣旨</b>	
① 知識・技能	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
② 思考・判断・表現	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

<b>評価方法</b>
小テスト、作品の製作過程の記録、提出物、取り組む姿勢 等

学習計画						
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ガイダンス	全体	1年間の学習内容と学習の流れを理解する。			○
5	製作の基礎	製作例	布地の種類（表地、裏地、しん地）や性質を理解し、それぞれの特徴に合わせた地直しや断ち方、縫い方を習得する。	○	○	○
6	和服の製作		<ul style="list-style-type: none"> <li>・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、長着などの製作をする。</li> <li>・作品に応じた適切な仕上げができる。</li> <li>・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。</li> </ul>	○	○	○
7				○	○	○
8	和服の製作			○	○	○
9				○	○	○
10	巾着等の製作		布を使いつくす。	○	○	○
11	洋服の製作	製作例	幼児のスモックまたは部屋着のキュロットを製作し、洋服の製作について知る。			
12						
1	（自由製作）					

## 令和6年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
家庭	フードデザイン	2	3	文系 選択

使用教科書	副教材等
フードデザイン Food Changes LIFE	

科目の目標
栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に資する能力と態度を育てる。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	健康的で豊かな食生活を営むための知識や技術を理解する。
② 思考・判断・表現	得た技術を適切に表現・発揮することができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	食生活に関心を持ち、得た知識や技術を活かそうとする。
評価方法	
ペーパーテスト（期末）、提出物、調べ学習、学習に取り組む姿勢	

学習計画						
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ガイダンス	全体	1年間の学習内容と学習の流れを理解する。			○
5	調べ学習	全体	食に関することがらについて、各自で課題を設定して、調査する。それをもとに分かりやすく内容をまとめた壁新聞とテスト用問題を制作する。	○	○	○
6 7	食品の特徴と調理 調理の基本	食品の特徴と調理 調理の基本	実習を通して食品の特徴と性質を理解し、基本的な調理操作・技術を習得する。  おいしさを構成する要素について理解する。	○	○	○
8	献立作成	食事計画	牛乳・乳製品、果物類、穀類、寒天・ゼラチンの実習で調理技術を習得する。  献立作成のポイントについて理解し、給食のメニューを考え、調理する。	○	○	○
9 10	食品の特徴と調理		卵、魚介・肉、砂糖、豆類、野菜類、いも類の調理技術を習得する。	○	○	○
11	料理様式	料理様式	さまざまな国の食文化の特徴、献立構成、マナーを理解する。	○	○	○
12 1	テーブルコーディネート	テーブルコーディネート	テーブルセッティングの基本的な考え方を学ぶ。	○	○	○

## 令和6年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
家庭	住生活デザイン	2	3	文系 選択

使用教科書	副教材等
リビングデザイン	

<b>科目の目標</b>  住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどに関する知識と技術を習得させ、快適な住空間を計画し、デザインする能力と態度を育てる。
--

<b>評価の観点とその趣旨</b>	
① 知識・技能	住生活と文化や住空間の計画、デザインの基礎的知識や技術を理解する。
② 思考・判断・表現	得た技術を適切に表現・発揮することができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	住生活に関心を持ち、関わっていかうとする。

<b>評価方法</b>
ペーパーテスト（期末）、調べ学習、提出物、住宅デザインソフトによる設計、取り組む姿勢

学習計画				評価の観点		
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	①	②	③
4	ガイダンス	全体	1年間の学習内容と学習の流れを理解する。			○
5	調べ学習	全体	住居の衛生と安全、世界の住まい、住宅構造等、住生活に関することについて、各自が課題を設定して調査・研究する。それらをもとに分かりやすく内容をまとめた壁新聞を制作、問題を作成する。	○	○	○
6	住生活と住居の変遷	住生活と住居の変遷	各時代の特徴的な住居様式を学び、住居の変遷を理解する。	○	○	○
	住生活と環境	住生活と環境	気候風土と住居との関わり、生活様式と住居との関わりについて理解する。	○	○	○
7	住居の選択と管理	住居の選択と管理	家族の生活と住意識や住欲求との関わりについて理解する。住居の選択に関する知識をもとに、ライフスタイルに応じた住居選択をできる能力を身に付ける。住居の維持管理の必要性和知識を知る。	○	○	○
8	インテリア	インテリア	インテリアの基本を知る。	○	○	○
9			色彩計画を立てられる。			
10	住居の設計	住居の設計	住居の設計に関する基礎知識を身に付ける。住宅法規の基本を知る。図面を読む技術を身につける。パソコンソフトを利用した平面図が作成できる。	○	○	○
11						
12						
1			発表会を行い自分の設計を振り返る。			

## 令和6年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
家庭	保育基礎	2	3	文系 選択

使用教科書	副教材等
保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ	

科目の目標
子どもの発達の特長や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	子どもの発達や子育ての知識や技術を理解する。
② 思考・判断・表現	得た技術を適切に表現・発揮することができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	子どもの発達や子育てに関心を持ち、関わっていこうとする。

評価方法
ペーパーテスト（期末）、提出物、保育実習、学習に取り組む姿勢

学習計画						
月	【単元名】	【使用教科書項目】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	ガイダンス	全体	1年間の学習内容と学習の流れを理解する。			○
5	調べ学習	全体	保育に関することがらについて、各自で課題を設定して、調査する。それをもとに分かりやすく内容をまとめた壁新聞とテスト用問題を制作する。	○	○	○
6	子どもの発達の特長	子どもの発達の特長	発達と環境のかかわりや児童観・発達観について学ぶ。	○	○	○
7	子どもの発達過程	子どもの発達過程	胎児と新生児期の身体的・生理的特徴を理解する。乳幼児期の心身の発達を理解する。	○	○	○
8	子どもの生活	子どもの生活	遊びを生かしていく保育について理解するとともに、実践し、技術を学ぶ。	○	○	○
9			保育実習①の企画、準備、練習、実践、振り返りを行う。			
10			保護者の役割について理解し、望ましい親子の係わり方を学ぶ。	○	○	○
11			子どもの生活と養護の方法を理解し、栄養と食事の実習を通じて、技術を習する。保育実習②の企画、準備、練習、実践、振り返りを行う。	○	○	○
12	子どもの保育	子どもの保育	家庭保育と集団保育の方法について学ぶ。	○	○	○
1	子どもの福祉	子どもの福祉	保育実習③の企画、準備、練習、実践、振り返り。	○	○	○